

## 人文学部日本語日本文学科

学位（教育）プログラム名：日本語日本文学

本プログラムでは、日本語日本文学の特質を諸言語・外国文学の中で理解し、この分野において自ら独自の問題を設定し、考察できるようになるために、以下の教育課程を編成する。全学共通教育では、幅広い知識と関心に基づき、日本語日本文学の諸事象を分析・説明できるようになるために、人文・社会・自然科学の諸領域をバランスよく学び教養を深める。専門教育は、1年から4年の各年次に、知識を深める講義科目と実践を養う演習科目を置く。講義科目は、1・2年次では、日本文学概論、比較文学概論、日本文学史、日本語学概論、日本語史を、必修または選択必修としてバランス良く配置し、近代文学、古典文学、日本語学の各分野の基礎的な知識を得る。また高度な古典読解能力を育成するため古典文学講読を必修として1・2年次に配置する。3・4年次では、1・2年次で築いた基礎を元に専門的な知識を伸ばせる科目として、日本文学特講、比較文学特講、日本語学特講などを選択科目として置く。演習科目は1年次に日本語日本文学基礎演習を置く。ここでは、本プログラムで4年間有意義に学ぶためのアカデミックスキルズを少人数クラスで習得する。2年次では専門を選ぶための科目である調査研究法を4科目以上受講したあと、3年次では近代文学演習、古典文学演習、古代語演習などの少人数制の演習科目を原則2科目履修する。4年次ではこの2科目のうちいずれか1科目を継続して履修し、さらに卒業論文及び卒業論文指導を履修して、卒業論文を執筆する。以上を通して、日本語日本文学に対する深い理解と文献収集・読解能力、コミュニケーション能力が身に付いているかが総合的に判断される。なお、本プログラムでの学習を生かした資格である日本語教員資格を得るための科目として、日本語教授法演習や日本語教育法の科目も設置している。